

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
フラーブ（保育所等訪問支援）		2026年 1月 30 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境 ・ 体制 ・ 整備 ・ 運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	2	1	・訪問時の利用者の課題に合わせて視覚支援の提供（実際に活用）、教材や環境を工夫している。	・支援教材については、訪問機関で用意できる物を使用したり、なければ、サンプルとして持参する。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	0	・担当を決めており、利用希望が増えると人員が足りない時がくる。	・訪問員の人材育成をし、今後人員を増やしたい。
業務 改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2	1	・こどもによっては児童発達支援事業所、放課後等デイサービス事業所との連携をとっている。	・訪問員が一カ月に一度の事業所内会議に参加していく。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0	・保護者様の意向等を把握する機会を作っている。	・聞き取りにて把握していたが、これからは評価表を活用し業務改善していく。
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0	・定期的に職員面談を行い、支援方法の情報共有、職員の意見等を把握する機会を設け、その内容を業務改善につなげている。	・管理職が担当職員への相談に応じる。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	1	・第三者に外部評価を依頼する機会がなかった。	・この度の自己評価により、具体的な改善策につながるように努めていく。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	0	・定期的な研修や外部の研修に行っている。	・支援者側の研修を行っていく。 ・定期的な社内研修を計画している。

適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	3	0	・情報の収集についてはご家族、学校、事業所の様子で支援計画の作成を進めている。	・アセスメントの情報を関係機関からも収集し、保育所等訪問の計画に活かしていく。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	0	・こども達の日々の様子を職員間で共有し、課題に応じた支援方法をチームで検討している。	・利用児童が関わる事業所の意見を訪問員が聞き取りし、計画案を検討していく。 ・最善の利益を考慮する支援を行えるように努めていく。
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	3	0	・訪問後の連絡により、学校側の見学も盛り込んでいる。 ・訪問員は、訪問先の担任や専門職員と連携会議を持ちより良い支援が行えるように努めている。	・計画の内容に沿った話題を、訪問機関の担当職員と話をすることで職員の意向を引き出して、盛り込んでいく。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	0	・提携している事業所へ支援計画の内容を伝達をしている。 ・事業所内でケース会議を行い、計画に沿った支援が行えるよう心がけている。	・計画内容を常に意識して訪問業務を行う。 ・学校やこども園の先生との話し合いを含めた支援が必要と考えている。
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	0	・評価の尺度表や段階表を使用している。 ・場合によっては社会適応の検査項目を参考にすることがある。	・場面に応じた尺度表を用いる。 ・今後も尺度表と行動観察の両面から対応していく。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	3	0	・通常級での支援については周囲との関係もあり、間接的な観察にとどめている。	・対象のこどもによって、在籍する場所のこどもに合わせた計画を作成していく。
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2	0	・提携している事業所へ支援計画の内容を伝達をしている。 ・事業所内でケース会議を行い、計画に沿った支援が行えるよう心がけている。	・計画内容を常に意識して訪問業務を行う。 ・学校やこども園の先生との話し合いを含めた支援が必要と考えている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	1	・利用児童の環境への配慮から、担当をなるべく固定している。担当を変える場合は、情報の共有を図っている。	・職員間での連携を大切に努めていく。 ・一人の担当決めをするのではなく、二人で担当し、観察の固定化を防ぐ。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	1	・担当職員と打ち合わせ、振り返りの時間を取り、保護者様への報告をその日又は近日中に伝えている。	・訪問員と訪問先の担当者との打ち合わせは、訪問前に行う。振り返りは、訪問時間後又は、後日電話し、面談日の実施等の連絡をする。

	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	3	0	・訪問先の理念や支援手法を尊重することは怠らずに訪問を行っている。	・訪問先の考え方や理念を念頭において、支援の提案をする。
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	3	0	・記録として訪問先へ伝えた経過をその後の結果も含めて残している。 ・訪問報告書は、保護者に確認していただいている。 ・訪問先の先生に、報告書の写しを渡している。	・訪問の記録を保護者様と共有していく。 ・定期的な見返しをする機会を持ち、こどもの成長の確認や問題行動への対処方法の材料としていく。
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	0	・定期的に保護者、訪問先へ確認をとっている。 ・長期休みには見直しの時期として訪問先との連絡を心掛けている。	・計画の見直しは、期日を基本とするが、進学や行事との兼ね合いで、臨機応変に見直しの時期をもっていく。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	0	・訪問支援に関わる職員や情報を共有している職員が参加している。	・サービス担当者会議へは担当職員と児童発達支援管理責任者が参加する。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	1	・関係機関と連携して支援体制を整えている。 ・訪問からの情報で共有の必要な内容は、迅速に電話で伝達を行っている。	・医療関係との連携が必要であれば、連携する機会を設ける。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	0	・入学、入園が希望された時に受け入れ先との情報共有ができるように調整を優先させて連携会議を持っている。 ・利用児童にとって最善な進路を選べるように学校と連携を行い保護者様に情報共有をしてる。	・保育園や幼稚園、こども園と併用をされている方については、情報を求められれば提供をする。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2	1	・外部研修や社内研修については年間計画を立てて実施している。 ・外部研修を探し、質の向上に動いている。	・助言を受ける機会を積極的に求めていく。
	24	(自立支援)協議会子こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2	1	・参加について指名していただけるのであれば、ぜひ参加したい。	・開催時期や内容がわかれば参加したい。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	0	・訪問の報告はその日に行うよう心掛けている。	・事業所の姿以外で、学校やこども園の様子を訪問前に情報を得て、訪問の観察に活かしていく。

	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者様同士のつながりや体験談を聞く機会を知らせている。 ・保育所等訪問事業所では行っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、保護者様の定期的な会合の日程を発信する。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・契約前、更新、運営内容の変更があれば丁寧に説明を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・契約の時に、運営規定と利用者負担について説明を必ず行う。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・利用前の事前説明を相手に同伴してもらっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで通り、初めての関係機関には、事前に伺い、管理職の方と担任の職員の方への挨拶と訪問の入り方、目的を伝えている。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問の担当者と意向の確認をしている。 ・こどもの姿を訪問先や家庭での情報を集めて意向を代弁し、支援計画案から面談を通して確認している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問については、利用児童を尊重することや特別視への配慮を考えて放課後等デイサービスの情報を収集、保護者様からの伝達によりくみ取っている。 ・引き続き、こどもやご家族からの意思を取りまとめて面談を通して確認していく。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・支援計画を示しながら、対面での説明を必ず行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画の内容を理解していただけるように、作成と説明を丁寧に行う。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・子育ての悩み等に対する助言については生活に組み込みやすくなるような提案をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者様からの相談に対しての支援方法を段階を踏みながら訪問機関と協力を得ながら進めていく。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・提携する事業所にて交流できるコミュニティの場を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いずれは、定期的なコミュニティの場の開催を検討している。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・相談を受けた職員から直ぐに管理職や先輩職員への報告を受け、対応を速やかに行う努力をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も丁寧で迅速な対応を努めていく。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者様には個々に連絡しているが、保育所等訪問事業について、焦点をあてた発信は行っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人的なやりとりで支援を行っている。

	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	0	・学校の先生と話をするときには、周囲に生徒やこどもがいないように場所を考えて話をしている。	・個人情報の書かれた書類はシュレッダーにかけなどの基本的な個人情報の保護について十分に留意している。
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3	0	・保護者様と会話の中での言葉の表現がこどもにも伝わるため伝達の方法や場所には配慮している。	・家庭環境を把握しながら、こどもについての話をしよう注意していく。
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	3	0	・随時連絡ができるように連絡先を伝えている。	・相談援助を迅速かつ、的確に対応できるように務めている。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	3	0	・学期に1回又は1年に数回行っている。	・毎回の訪問から支援の検討により、年に2回の時間を持つ。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	3	0	・電話や文章での報告を行っている。 ・報告書については、直ぐに手元に届くよう努力している。	・訪問日のに共有できるよう努めている。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	0	・学校の先生と話をするときには、周囲に生徒やこどもがいないように場所を考えて話をしている。	・個人情報の書かれた書類はシュレッダーにかけなどの基本的な個人情報の保護について十分に留意している。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	3	0	・言葉だけではなく、道具が必要であるならサンプルを持参している。	・訪問先の方針や理念を尊重しながら、助言と言うよりも、共に支援法を考えていく寄り添った訪問をしている。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	0	・訪問先の学校やこども園の対応に従うようにしている。	・訓練は行っていないが、発生時を想定している。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	1	・事業所内での安全計画を作成し研修を行っているが、安全管理の支援については、訪問先の学校やこども園の対応に従う。	・訪問に関しては訪問先の安全計画に沿って行動をする。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2	1	・訪問先でヒヤリハットは経験していない。	・訪問にてヒヤリハットの場面が発生すれば、訪問先へ情報を提供し、報告の中で、保護者様への連絡を行う。

対 応	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	0	・年に1回研修を行っている。	・研修を受講している。虐待の場面を目撃した場合、虐待が疑われる場合は、適切な対応を行う。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	0	・保育所等訪問事業所では、訪問先の先生の対応に従うことを優先しているので直接的な支援（身体拘束等）を行うことはない。	・身体拘束等が必要な場合の説明は、契約時に伝えることとしている。